

高規格道路の整備により 災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築する

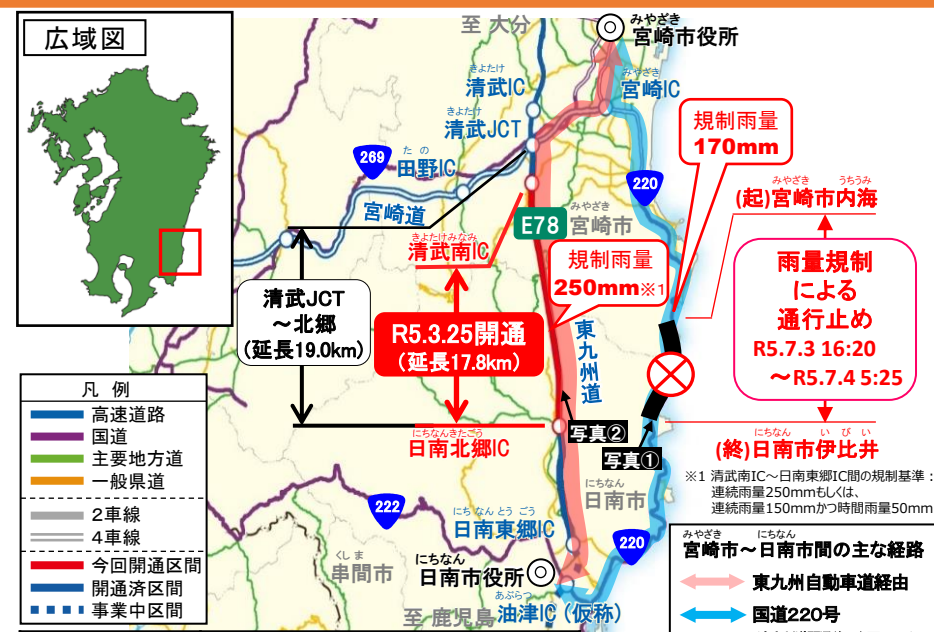
【対策】51 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

対策概要: 激甚化、頻発化する災害から速やかに復旧・復興するためには、道路ネットワークの機能強化が必要。発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進。

府省庁名: 国土交通省

【事例】東九州自動車道 清武JCT～北郷

- 実施主体: 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
- 実施場所: 宮崎県宮崎市～日南市
- 事業概要: 東九州自動車道に並行する国道220号には異常気象時の事前通行規制区間が存在し、過去に災害や事故による長時間の通行止めが発生していた。そこで、九州東部の広域的な連携や、物流の効率化及び地域の発展、災害に強い道路ネットワークの構築等のため、未開通であった東九州自動車道 清武JCT～日南北郷IC間(延長19.0km)の整備を実施。
- 事業費: 1,622億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)15億円)
- 効果: 令和5年梅雨期の大雨において、日南市伊比井地区では、規制基準(170mm)を超える連続雨量194mmを記録し、国道220号は約13時間の全面通行止めを行ったが、令和5年3月25日に開通した東九州自動車道 清武南IC～日南北郷IC間が迂回路となり、代替機能を発揮した。



▲写真① 国道220号における規制(伊比井地区) (令和5年7月3日～4日)



▲写真② 東九州自動車道 清武南IC～日南北郷IC間 (令和5年3月25日: 開通時の状況)